

平成26年度 現役チーム 近況報告

長野吉田高校
男子バスケットボール班
顧問 西澤 潤也

OBの皆様方には、日頃よりご指導やご支援を賜り、感謝申し上げます。

8月14日のOB・現役交流戦には、お忙しい中にも関わらず多くの方にご参加頂き、誠にありがとうございました。新たな顔ぶれも増え、益々OBが結束し活性化されていることを感じることができました。私の教え子達も温かく迎え入れていただきまして感謝申し上げます。

今年度のインターハイ予選では、非力なチームでしたが気持ちではどこにも負けないと、なんとかベスト4まで駒を進めました。現在は1・2年生主体の新チーム体制となり、高校選抜大会や新人戦に向けて、日々練習に励んでおります。

いつものことながら、OB諸先輩方から激励の言葉やご支援を賜り、誠にありがとうございます。今後も先輩方の輝かしい成果に少しでも近づけるように、高い目標を持って努力して参る所存です。変わらぬご指導とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

平成26年度新チーム 班長 竹内 秀一

今年度のチームは体が小さく、走ることやディフェンスを徹底することを大切にしています。最終目標は県大会優勝です。目標を達成するために日々の練習を頑張っています。スタートして間もないチームで、まだまだ力不足ですが練習を積み重ねて頑張りたいと思います。応援、よろしくお願いいたします。

吉田だより

長野吉田高校
バスケットボールOB会
クラブ便り編集
責任者：吉田知実
平成26年9月発行

- 《9月号目次》
- 現役チームの近況報告
 - 夏!!恒例のOB会開催
 - 会費納入状況及び会費納入呼びかけ
 - 吉田クラブの盛り上がり

吉田クラブ県一般優勝！

七月に行われた県一般大会において、我が吉田クラブが久しぶりの県優勝を果たすことができました。その様子を、チームのムードメーカーである荒木志勇人(五十九期)君から報告します。

試合終了を告げるブザー。選手たちの拳が高く突き上げられ、歓喜の輪が生まれる。チームを支え続けてくれた清水監督が宙に舞う。
一回、二回、三回。

七月一三日。長野県一般大会において、吉田クラブは優勝を果たしました。県規模の大会で優勝するのは、実に久しぶりのことでした。

吉田クラブは、県内随一の伝統あるクラブではありますが、メンバーが少なくなり、良い成績を残せない時期が、しばらく続きました。当時は県大会一回戦での敗退が続いていたと聞きます。

転機が訪れたのは三年前。長野県国体の主将を務める三澤賢さんの加入によって、チームが盛り上がり、県大会の決勝まで一気にかげあがりました。しかし、結果は準優勝。その後の大会でも、常に優勝には一步届かず。ついには今年四月の国体予選会、信州大学に敗れてベスト四入りすら逃してしまいました。

その夜の反省会。我々吉田クラブメンバーの高校時代の恩師である廣田先生から、

「相手に応じた戦い方をすること」

とご指導をいただきました。

そうですね。吉田クラブは勢いに任せて、ただがむしゃらにバスケットをしていました。しかし、それでは勝てませんでした。勝負の世界。勝つためには自分たちのやりたいことばかりを目指しては、だめだったので。我々には「相手に応じ、相手の良さを消す」という心構えが、足りていませんでした。

また、新年度に入り、転勤によってメンバーの勤務地がバラバラになったことも、事態を好転させました。チーム練習が少なくなる分、それぞれが個人練習で、自分の武器に磨きをかけました。

時間とお金を費やし筋肉増量を図る者。

仕事を抜け出して練習する者。

得意のアウトサイドシュートに磨きをかけるべく、ひたすらシュート練習に打ち込む者。

審判活動によってルールの面からバスケットへの見識を深め、ベンチワークに生かす者。

壊れたアキレス腱や膝の負傷をかかえながら、昔の輝きを取り戻そうとものがく者。

ベンチから声で戦うため、発声練習を行う者。

ゴール下での激しい戦いに備え、脂肪を蓄える者。

経済の安定を図るため職につく者。
生活の安定を図るため結婚する者。
家庭の安定を図るため、子育てに精

を出す者。……

そして試合本番。

準々決勝。第一ピリオドで一五点のリードを奪ったものの、追いつかれてしまい、試合は延長戦へ。しかし、その延長で個人練習の成果が出ます。筋肉増量を図った選手たちの力強い3Pとドライブが面白いように決まり、終盤に突き放して勝利。

準決勝。相手は王者ANTELOPE ES。相手にも吉田OBが多数いる上、審判も吉田OBという、吉田づくしの試合。

試合は終盤まで相手を追いかける苦しい展開に。早く追いつきたい吉田クラブですが、ANTELOPEの固いディフェンスを崩すことができず、なかなか得点をとることができません。しかし、こちらも全員ディフェンスで相手を封じ込み、試合は重苦しい雰囲気。このまま、また敗れてしまうのかと思われたその時、結婚により生活が安定した選手の、安定感のある3Pが次々と決まり、劇的な勝利をおさめました。

そしてついに決勝戦。相手はくしくも、あの信州大学。四月に国体予選で苦汁をなめさせられた相手。試合前、全員で恩師の言葉を思い出しました。「相手に応じた戦い方をしろ。」

前回は、学生得意の走る展開になってしまい26点差で敗北。
「ゲームをゆっくりコントロールし、学生を走らせないようにしよう。」
試合前のミーティングで確認をし、終

始徹底しました。

結果、信州大学に思うようなバスケットをさせず87対65で快勝。見

事、優勝を飾りました。特定の戦力に頼り、ただがむしゃらにプレーしていた我々が、それぞれの長所を生かしながら、相手に応じたプレーができる、大人のチームに変わった瞬間でした。

しかし、これで終わりではありません。本当の目標は「全国クラブ選手権出場」。さらに強い吉田クラブを目指して、また頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、多くの方々からご支援、ご声援をいただいた上、祝勝会まで開いていただき、本当にありがとうございました。

皆様方への感謝の気持ちを忘れることなく、次の大会へ向かってまいります。 (荒木 志勇人)



優勝後、最高の笑顔の吉田クラブメンバー！

夏、恒例のOB会開催

毎年恒例の現役高校生とOBとの交流会が八月一四日に行われました。今年もお盆期間中で、どのご家庭も忙しく参加しづらい日になりましたが、大勢のOBのみなさんが吉田高校体育館に集まり、熱気にあふれた交流試合が行われました。

第4ピリオドまでのフルゲームが行われ、序盤はOBチームの流れで進んでいきましたが、後半から現役チームがじわじわと追い上げ、追いつき始めました。追いつかれても、さすがはOBチーム。一気にリードは許さず、シーソーゲームが続きました。しかし、第4ピリオドになると、OBチームに疲れが見え始め、終わってみると現役チームが僅差で勝利！現役の意地を見せたナイスゲームでした。

和やかな雰囲気です。試合が行われたものの、現役チームからはOBチームを負かそうとする



気迫を伺うことができました。また、OBチームの力のこもったプレーにも盛り上がりました。中にはゴール下シュートをポロリ・・・などの珍プレーもあり、ベンチから厳しい激が飛ぶ場面もありました。また、OBチームのベ
ンチは、例年にならぬほどの控えメンバ―がいて、交代も充実に、世代を超えた交流ができました。



ゲーム終了後、集まったOBメンバー全員で記念撮影。あまりの人数の多さに、急遽二階のギャラリ―から撮影することに。みなさんいい顔でOB戦を終えることができました。今回久しぶりに参加してくださった新井誠さんより、OB戦の感想などを掲載します。

「苦しくなければ成長しない」

新井誠

「よくもこんな練習ができたなあ。」久しぶりの現役の練習を見て率直な感想でした(苦笑)
そして、人生における波のように押

し寄せる難局を成長の糧へと変える礎を築いてくれたのがこの体育館だったという事を改めて思い出しました。まさに「人生の原動力」はここにあり。
昭和六十一年。

振り返ると、伝統ある吉田高校男子バスケット部には一四人の仲間(三年生：六名、二年生八名)が居て、私がキャプテンを務めていました。私が頭を悩ませたのは、少人数ゆえに練習の回転が驚くほど速く次々と順番が回るため、練習メニューを豊富に揃えなければならぬ事でした。時には体育館を離れ、雲上殿までランニングし(通称)雲上殿ダッシュを繰り返して、校舎の非常階段を仲間をおんぶして登ったり、下ったり、また、鉄アレイを両手にかかえ跳び箱にかけ上がったリ・・・思い出すと笑みがこぼれそうな練習をしていました。

出来の悪い私を支えた一三人の仲間は、県立高校の宿命、選手を集められないという苦しさ、もどかしさを成長に変え偉業を成し遂げました。

■新潟県一位新潟工業を破り、初の全国選抜大会へ出場 (ベスト一六)

■岡山インターハイ出場 洛南高校(京都)に惜敗 (ベスト三二)

■山梨国体出場 秋田県(能代工業高校)に惜敗 (ベスト一六)

「No Pain No Gain」苦しくなければ成長しない」

当時は理解できませんでしたが、この言葉がしっくりくる高校でのバスケット期間でした。

ご指導いただいた監督、コーチ、選手を支えたマネージャー、熱狂的応援団の父兄会・OBに改めて御礼申し上げます。現役生、今の苦しみはきっと君達の大切な財産となる！頑張れ！



新井さんが現役当時の写真

OB戦の後
は、これまた恒例の「初の湯」

。毎年変わらず参加される方々だけでなく、若い子は昨年度高校を卒業



した子まで幅広い年代のOBが集まりました。お酒を飲みながらも、吉

田高校時代の話や、吉田クラブの話、お互いの近況報告など、熱い話で盛り上がりました。

二時間ほど初の湯での会が終わったところで、場所を長野駅前に移し、吉田クラブの県一般大会優勝祝勝会が開かれました。



初の湯の会に引き続き、三〇名ほどが集まり、大変にぎやかな会となりました。また、この会に際し、県バスケットボール協会副会長の荒井様と同席してください。本当に感謝であります。OBとして、改めて吉田クラブ、吉田高校の伝統を感じた祝勝会となりました。

高校を卒業してからほぼ毎年お盆のOB会に参加させて頂いています。が、確実に母校の仲間が年々増え、横の繋がりがだけでなく縦の繋がりが強くなっていくように感じます。ぜひ来年以降も、この会に大勢の仲間と出会うことを楽しみにしています。(文責 吉田知実)



《OB会
フォトギャラリー》

来年はこれ以上集まることを願って...

吉田クラブ ホーム

長野吉田バスケットボールクラブのホームページが公開されました。Homepage 担当 佐藤 良幸副幹事長(26期) 小野塚隆康さん(42期) 山口 岳彦さん(42期)を中心に作成を進めていただき、吉田バスケットの歴史とつながりを感じることで、素晴らしいホームページになっています。みなさんもぜひご覧下さい。

まだ、できたてなので検索登録されていないため、下記のURLか、QRコードからしかアクセスできませんが、広くPRをお願いします m(_)_m
 《URL》 ↓ 《QRコード》 →
<http://www.n-yoshida-basket.com/>



H26 年度会費納入状況及び会費納入のお願い

[H26 年度会費納入者]

小林弘呼、押田郁雄、戸津幸雄、直江勇、小林慧歩、内山尚之、戸谷章、中村盛男、小林和夫、宮原清、中村重美、橋詰武人、太田哲男、山岸宣明、石井栄二郎、星沢勝利、岩崎敬二、牧野菊實、中澤豊和、白谷秀明、藤澤和、柳沢守、小柳誠、酒井一、柳見沢宏、和田哲男、藤澤賢一、金丸和博、清水信行、佐藤良幸、広田信一、武井忠志、大屋康秀、伊藤幸広、荒木博明、高池一昭、田中幸一、赤塚和夫、荒井秀敏、早川尚希、佐々木明、塚田壮一、竹村昇、山口正樹、小林和幸、山崎康志、小松満、伊藤治彦、松澤憲、野口麻友、小沼義博、小野塚隆康、蜜沢大輔、大内一志、西澤拓真、大屋秀作、渡辺悠太、山田新、中村星羅、池田哲也、塚田真司、飯島雄樹、平井慶、伊藤純一、市川尚道、小池翼、荒木心太、大池慎、唐澤栄作、松島進之介、村田翔太郎、辻中健斗、前島大樹、杉本将太、北原伊織、宮下和史、瀧澤柳介、豊田浩貴、本藤拓哉、上山 翔也
 (H26.9月現在77名)

[納入方法]

1. 幹事等へ直接手渡し
2. 郵便局振込用紙にて納入
3. 八十二銀行振り込み
 ・支店名 長野市役所支店 ・普通口座 108461 ・長野吉田バスケットボールクラブ

ご協力 よろしくおねがいします。